

項目	内容
名称	ロックローズ [英]Rock rose [学名]Helianthemum nummularium
概要	ロックローズは、ヘリアンテムム・ヌムラリム (Helianthemum nummularium) をはじめとしたハンニチバナ科ヘリアンテムム属植物の別称。ヘリアンテムム・カナデンス (Helianthemum canadense 通称：フロストワート (Frostwort)) やキスツス・ラダニフェル (Cistus ladanifer 通称：ラブナダム (Labdanum)) など、ヘリアンテムム属以外のハンニチバナ科植物を別名でロックローズと呼ぶことがあるが、別種なので混同しないよう、注意が必要である。花部が、ホメオパシーの1つであるバッチフラワーレメディーに利用されている。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <p>「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。</p>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・フラボノイド、没食子酸、エラグ酸、β-カロテン、ゼアキサンチン、クリプトキサンチン、ルテイン、α-カロテンなどを含む (111)。
分析法	-
有効性	
ヒトで 循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。

の 評 価	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・ 内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について) (80) 植物レファレンス事典 日外アソシエーツ (111) Fitoterapia. 1994;65(2):181.	